



栃木を元気に！

ふるさと活力応援隊だより Vol.7



とちぎの農村 #フォトコンテスト優秀作品

令和5(2023)年度 栃木県農政部

～ ふるさと活力応援隊の活動 ～

人口流出や高齢化が進む中、農山村地域では、地域の維持や活性化に必要な人材が不足し、その結果、耕作放棄地や鳥獣被害の増加、集落機能の低下などの課題が深刻化してきています。ふるさと活力応援隊員は、県職員として現役時代に培ったノウハウを生かして、地域を元気にするための様々な“ふるさと活動”に取り組んでいます。

隊員数：102名（令和6年3月現在）

〈ふるさと活動の例〉

集落営農の推進、鳥獣被害防止対策、地域保全、直売所・農村レストランの運営、食育活動 など

ふるさと活力応援隊員の活躍について紹介

① 吉澤 崇 隊員（河内地域）

令和5年7月9日
10月8日

楽しいな！親子でいも掘り

とちぎ夢アグリでは、県庁OBの有志が集まり宇都宮市内でいも類や野菜の生産・販売を行っています。

この活動に加え、多くの方々に農業の楽しさ等を実感していただくため、農業体験の受入も行っており、令和5年度には農業振興公社と共同で7月にジャガイモ、10月にサツマイモの収穫体験を実施しました。子供達が泥まみれになり、掘った芋を自慢そうに親御さんに見せていたのが印象的でした。

今後も、子供達に限らず多くの方々に農業の魅力を体験出来る場を提供していきます。



ジャガイモ・サツマイモ収穫体験の様子

ふるさと活力応援隊員の活躍について紹介

② 高橋 久美子 隊員（上都賀地域）

令和5年2月1日～28日

しもつかれ講座 ～地域が誇る郷土料理を次世代へ～

本県の代表的な郷土料理の文化的価値を次世代に伝えるため、しもつかれ講座の講師を務めております。

しもつかれの歴史や作り方、その材料など講座での実習を通して参加した県民に伝えてきました。しもつかれの魅力を多くの人に感じてもらい、次の世代につなげていきたいです。



しもつかれ講座の様子

③ 九石 裕 隊員（芳賀地域）

令和4年4月～令和5年3月

条件不利地域での小農の生きる直売活動の道

現在、JAはが野茂木農産物直売者部会の部会長として活動しており、直売所を核とした農村地域の活性化に取り組んでいます。

茂木町では約170戸の農家が直売活動を行っており、個々の販売額は必ずしも多くありませんが、直売により収入を確保しています。

最近では、農外から参入した半農半X(兼業)農家や有機栽培を取り入れた農家もわずかではありますが見られはじめ、注目しているところです。

今後、直売所を通じた生産者と消費者の理解と連携、地域内の新しいコミュニケーションの再生につながることを期待し、活動を継続していきます。



茂木町の直売所風景



出荷農家の直売所搬入風景

ふるさと活力応援隊員の活躍について紹介

④ 小林 俊夫 隊員（塩谷南那須地域）

令和4年7月4日
9月29日
12月22日
令和5年3月31日

季刊誌「しもつけの心」で地域の農業の姿を発信

地域農業の姿を県民に広く伝えるため、(株)井上印刷が発刊する季刊誌「しもつけの心」紙面上で、県下に情報を発信しました。

「小さくても強い豊かな農業」(八溝地域にその姿を探して)と題し2019年(53号)から連載を開始しており、栃木県の真の農業の姿は条件不利地域(八溝に焦点当てる)で頑張る元気な農業・農村の姿にあると仮説し、取材報告しています。(那須町から始まり昨年度は茂木町を取材)

【令和4年度1年間で4回報告】

- ① 茂木町の農を持続させる挑戦・これまで、そしてこれから
- ② 茂木町「そばの里まぎの」の物語
- ③ 茂木町福手地区の小幡隆氏、竜徳氏の経営継承を取材して
- ④ 条件不利地域での小農の生きる直売活動の道



入野の棚田 (上空から)



牧野集落遠望



小幡家遠望



茂木町の塩市所風景

季刊誌「しもつけの心」の紙面の一部

令和5年度の農政トピック

～ 栃木県誕生150年記念イベントで県産農産物の魅力を発信！ ～

栃木県誕生150年を記念し、県産農産物の魅力を発信するため、県内外で多くのイベントを開催しました。

「いちご王国・栃木」のPRに向けては、東武鉄道(株)及びJAグループ栃木と連携し、東武宇都宮線の愛称を「いちご王国ライン」としたほか、いちごラッピング列車の運行などを行いました(右写真)。

また、「大切な人にいちごを贈ろう運動」や「いちご川柳コンクール」を実施し、県民の皆様と一体となったプロモーションを展開しました。



～ 「栃木県民牛乳消費拡大月間」を制定！ ～

国際情勢の変化による飼料価格高騰など酪農家の経営が厳しいため、県民の酪農・牛乳への理解を醸成し、牛乳を飲む機会が増えるよう、消費が落ち込む8月と12月を「栃木県民牛乳消費拡大月間」として制定しました。

「とちぎ☆夏ミルク」、「とちぎ☆冬ミルク」を合言葉に、本月間の周知に加え、ミルクキッチンカーによる牛乳料理の重点販売や、プレゼントキャンペーン等を実施しました。



～ 全国農林水産物直売サミットを本県初開催 ～

本県で初開催となる「全国農林水産物直売サミット」において、県内外の農産物直売所の優良事例や課題解決に向けた取組を関係者と広く共有するとともに、県独自の取組である「いちご王国マルシェ」の開催や交流会での地産地消メニューのPR等を通じて県産農産物等の魅力を全国に発信しました。

参加者からは「非常に充実したサミットで、栃木の直売所の強いネットワークを感じた。」との好評を得られ、県内外の直売所活動のより一層の活性化に繋がるサミットとなりました。



～農村ボランティアマッチングサイト「TUNAGU」～ 是非会員登録の上、地域を元気にする活動に御参加ください!

TUNAGUは、とちぎの「農村」と地域貢献に興味がある「人」の「ご縁」をつなぎ、とちぎの中山間地域の活性化を目指すサイトです。

TUNAGUの趣旨に御賛同いただける方の会員登録・活動参加をお待ちしています。



TUNAGU
トップページ

○TUNAGUでできること

- **クエストで農村に関わる**
里山保全や遊休農地の再生などのミッション「クエスト」の参加申込ができます。
- **イベントで農村を楽しむ**
交流会や収穫祭など農村とみんなをつなぐ楽しいイベント情報を紹介しています。
- **レポートを読んで農村を知る**
地域の活動報告や若者目線で地域の魅力を伝えるレポートなどを掲載しています。
- **動画を見て農村を知る**
活動の雰囲気や参加者の生の声などをまとめた動画を公開しています。
- **特派員になってスキルを活かす**
自らのスキルを活かして地域で活動いただけるTUNAGU特派員を募集しています。



また、TUNAGUを活用いただける地域団体も募集しています。御自身が取り組んでいる農村地域での活動の参加者募集や情報発信などに是非御活用ください。

※TUNAGUの利用には条件があります。詳細は農村振興課 (028-623-2334) までお問合せください。

ふるさと活力応援隊事業の詳細については、下記の窓口にお問合わせください。

お住いの地域	お問い合わせ先	
宇都宮市、上三川町	河内農業振興事務所企画振興部	TEL 028-626-3061
鹿沼市、日光市	上都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0289-62-5236
真岡市、益子町、茂木町 市貝町、芳賀町	芳賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0285-82-4720
栃木市、小山市、下野市 壬生町、野木町	下都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0282-23-3425
矢板市、さくら市、那須烏山市 塩谷町、高根沢町、那珂川町	塩谷南那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-43-1252
大田原市、那須塩原市 那須町	那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-23-2151
足利市、佐野市	安足農業振興事務所企画振興部	TEL 0283-23-1455
事業全般	栃木県農政部農政課企画調整担当	TEL 028-623-2272